



江野澤吉克県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

鳥獣保護区を縮小・解除へ

江野澤県議が積極提言



コロナ対策をして登壇した江野澤県議

を行うことはできませんが、他県では、農作物被害が深刻になっている鳥獣保護区を、一時的に縮小または解除し、イノシシ・ホンジカなどの獣種を限定して狩猟を認め、捕獲頭数が増加した事例があるという聞いています。

こうした事例も踏まえ、県としても安全性の確保に配慮しつつ、鳥獣保護区の見直しについて、市町村の意向を確認した上で、猟友会、農業団体等関係者と協議しながら検討を進めてまいります。

江野澤議員 今後、鳥獣保護区の見直しについて、具体的にどのような検討を

進めていくのか。

環境生活部長 鳥獣保護区の区域指定や見直しについては、千葉県鳥獣保護管理事業計画の策定時に検討を行っています。現計画の計画期間が来年度末で終了することから、今後計画の策定作業に入ってまいります。

県として、保護区の見直しに關しては、市町村の意向を確認し、関係者の意見を伺いながら進めてまいります。

要望 有害鳥獣による県内の農作物被害が少しでも軽減できるよう、また、令和3年度の狩猟期までに見直しができるよう、積極的な対応を要望します。

都市計画道路整備

江野澤議員 東京湾アクアライン着岸地周辺地域で、産業の賑わいが期待されている地域では、新たな都市機能を形成し、交流、連携を図るためには、都市計画道路が必要であり、袖ヶ浦駅周辺地域とアクアライン着岸地の金田地区を結ぶ都市計画道路の整備は重要です。

県土整備部長 西内河根場線及び中野畑沢線は現在、残る袖ヶ浦市坂戸市場地先から木更津市中野地先までの1・1キロ区間の整備を進めています。

用地取得率は約8割になつており、まとまった用地を取得できている袖ヶ浦市側において、浮戸川の橋梁工事着手に向けて、進入路

画道路西内河根場線及び中

そこで伺います。都市計

野里地先の歩道整備

江野澤議員 県道横田停車場上泉線の袖ヶ浦市野里地先における歩道整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 同線の袖ヶ浦市野里地先、約400メートル区間は、通学路に指定されていますが、歩道がなく車道も狭いことから現在、歩道の整備と車道の拡幅を実施しています。

平成27年度に事業着手し、これまでに100メートル区間を完成しています。残る

などの準備工事を進めているところとす。

引き続き、袖ヶ浦市や木更津市と連携し、残る用地の取得を進め、事業を推進

要望 都市計画道路西内河根場線及び中野畑沢線について、1日も早く開通させるよう要望します。

道路整備で要望

要望 県道長浦上総線の袖ヶ浦市野里地先では、見通しが悪く道路幅員も狭いことから、車両のすれ違いに支障をきたしており、阿部地先では、中川小学校の通学路区間で幅員が狭く歩道もないことから、児童など歩行者の安全が確保されていない状況になつています。

この状況を改善するため、県では野田及び阿部の両箇所について、今後、用地交

渉に入っていく予定と聞いています。については、県道長浦上総線の袖ヶ浦市野里地先と阿部地先について、早期に整備していただけるよう要望します。

また、新たな湾岸道路は、早期に計画の具体化が図られるよう、国に協力し積極的に取り組むよう要望します。

例年1月に行ってきた「江野澤吉克県政報告会」は、新型コロナウイルス感染症防止のため、本年は中止いたします。

道路問題で幅広く要望

農作物被害が深刻化

江野澤議員 有害鳥獣による農作物被害が特に深刻な地域では、被害を軽減するため鳥獣保護区を縮小するなどして、狩猟が可能な

区域を広げるべきと思うがどうか。

環境生活部長 当該区域では、鳥獣を捕獲することが禁止され、狩猟者が狩猟

地域の課題に正面から取り組み

河川管理の重要性を訴え！ 堆積土砂撤去や竹木伐採で

管理予算は6倍増額

江野澤議員 近年の気象状況をみると、統計史上最大規模の台風の直撃がみられ、想像を超える豪雨や強風に直撃されています。各地で土砂崩れや河川の氾濫が発生しており、河川整備及びその維持管理が重要と考えます。

このままでは、いつ降るか分からない状況では、河川の維持管理が今まで以上に重要になっています。河川内の堆積土砂撤去や竹木伐採の予算の状況はどうか。また、小櫃川の袖ヶ浦市横田付近における取り組みはどうか。

県土整備部長 令和2年度当初予算では、流下能力の向上が必要な河川において、河道内の堆積土砂撤去や竹木伐採を進めるため、



土砂の堆積で雑草が生い茂る小櫃川
(袖ヶ浦市横田付近)

本年度新たに創設された緊急浚渫推進事業債も活用し、前年度の6倍となる約20億円を確保しました。

また、小櫃川の袖ヶ浦市横田地先の中川橋付近では、湾曲部となっているため、土砂の堆積が特に著しいこと

次期廃棄物処理計画

江野澤議員 廃棄物処理計画について伺います。第10次廃棄物処理計画の策定に向けた進捗状況はどうか。

環境生活部長 県では、県内の廃棄物処理の現状や取り巻く環境の変化を踏まえ、令和7年度を目標年度とする第10次廃棄物処理計画の策定を進めています。

これまでに、有識者や市町村の意見を伺うとともに、環境審議会の審議を経て、計画の骨子をまとめたところであり、現在、この骨子をもとに計画素案を策定しています。今後、改めて審議会に諮った後に、パブリックコメントを経て、年度内の策定を目指してまいります。

から、昨年度に引き続き、土砂撤去を進めてまいります。

要望 小櫃川の上流部でも、台風や大雨が来る前に、堆積土砂撤去及び竹木伐採に取り組んでいただくよう要望します。

要望 次期廃棄物処理計画については、循環型社会の実現が一層進むよう、新たな課題にも積極的に対応できるものにしていただければと思います。

また、廃棄物処理については、高齢者のごみ出しの支援や少子化に伴う従事者の確保、また、処理施設の更新などの長期的な課題もあります。最終処分場についても、今使用している施設の埋め立てが終わってしまうと、次の施設を確保しなければなりません。県内で発生した廃棄物は、できるだけ県内で埋め立て処分すべしであり、県として最終処分場を設置することも一つの選択肢として考えられます。

廃棄物処理計画の計画期間は、令和7年度までの



アクリル板に囲まれた自席の江野澤県議

麦や大豆の生産支援

江野澤議員 麦や大豆は、食料自給率の向上につながる重要な作物であり、農家の所得向上のためには、国や県の支援が不可欠です。そこで伺います。県は、水田における麦や大豆の生産をどのように支援していくのか。

森田知事 麦や大豆は、主食用米の需給調整のための重要な品目であり、農業者が安心して生産に取り組めるようにするためには、収入の安定と生産性の向上を図る必要があります。

このため、県では米から転換する際の助成や収入補填を行う国の交付金の活用

要望 飼料用米等の非主食用米の生産による水田転作の取り組みだけでなく、麦や大豆の生産に対しても、スマート農業機器の導入助成など、ハード面も含めて支援をお願いしたい。

感応式信号機の整備

江野澤議員 感応式信号機に改良するなど、交通量の閑散時に交通の円滑化を進める必要があると思う

警察本部長 県警では、交通の円滑化を図るため、交通量の調査を踏まえ、交通

かりと検討していただくよう要望します。

要望 交通の円滑化を図るためにも、また、排気ガスの量を減らすことにもつながるため、感応式信号機の整備を進めるよう強く要望します。

●袖ヶ浦市と県政に関するご要望をお寄せください。

えのさわ吉克

県議事務所

〒299-0236 袖ヶ浦市横田413-9 TEL.0438-75-8881 FAX.0438-75-8882